

グローバル文化セミナー

ポーランド滞在記

日時：2018年10月11日(木) 18:00～19:30

場所：古本屋 ワールドエンズ・ガーデン

(神戸市灘区城内通5-6-8：阪急「王子公園駅」より徒歩5分)

講師：東影智裕 (美術家) ・ 今村遼佑 (美術家)

* 参加費・申込み不要。終了後、ゲストハウス萬家(Maya)にて懇親会を行います。

グローバル化が進む現在において「文化交流」とはだれがどのように行うのでしょうか？近年、国内外から招かれた芸術家とその地に滞在しながら制作を行う「アーティスト・イン・レジデンス」が世界各地で盛んになっています。神戸大学国際文化学研究推進センターでは、海外の諸都市を訪問して創作活動を行った方にその体験を語っていただくセミナーを開催することにしました。今回はポーランドで海外研修を行い、秋には「龍野アートプロジェクト in クラクフ」に参加する東影智裕さんと今村遼佑さんをお招きします。

東影智裕：HIGASHIKAGE TOMOHIRO

1978年高砂市生まれ。記憶、存在、生と死を主軸として制作を行う。五島記念文化財団（東急グループ）の助成により滞在したポーランドでは、ヤゲウォ大学での講演会やクラクフのオープンアトリエ展に参加した。BIWAKO BIENNALE 2018（近江八幡）、ギャラリー島田（神戸）、ギャラリーノマル（大阪）で作品を発表予定。



今村遼佑：IMAMURA RYOSUKE

1982年京都生まれ。2007年京都市立芸術大学大学院修士課程修了。日常の生活の中での記憶や感覚のもとにインスタレーションや映像作品を制作。ポーラ美術振興財団の「若手芸術家の在外研修助成」をうけてワルシャワに滞在。現在、Dimler Contemporary（ベルリン）の合同展に参加している。

グローバル文化セミナー

ポーランド滞在記

日時： 2018年10月11日(木) 18:00～19:30

場所： 古本屋 ワールドエンズ・ガーデン

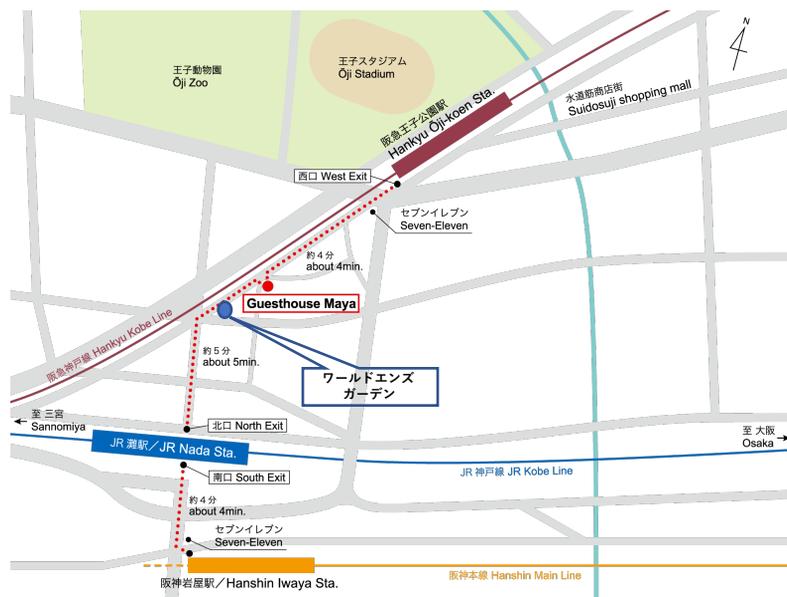
(神戸市灘区城内通5-6-8：阪急「王子公園駅」より徒歩5分)

講師： 東影智裕 (美術家) ・ 今村遼佑 (美術家)

参加費： 無料

申込み： 不要

※トーク終了後、ゲストハウス萬家(Maya)にて懇親会を行います。



助成：灘区 (大学と連携したまちづくりチャレンジ事業)



サントリー文化財団 SUNTORY FOUNDATION

後援：



ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO